

地方創生加速化交付金を活用して行った事業 効果検証シート

【資料3】

交付対象事業の名称	交付金	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		数年後			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	指標値	単位	目標年月	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1 「健康活躍のまち」ブランド戦略展開事業	加速化交付金	17,667,622	指標①	まちづくりプラットフォーム等で繋がりが、プロジェクトに参加する住民数	10	人	平成29年3月	17	地方創生に効果があった	50 (延べ)	人	平成32年3月	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続		
			指標②	「健康活躍のまち」を担う専門人材数	3	人	平成29年3月	12		5 (延べ)	人	平成32年3月				
			指標③	住民活動団体数	63	団体	平成29年3月	60		70 (単年)	団体	平成32年3月				
			指標④	地域の新産業創出件数	1	件	平成29年3月	0		3 (延べ)	件	平成32年3月				
2 「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業	加速化交付金	263,520	指標①	県外からの移住者数	10	人	平成29年3月	28	地方創生に効果があった	50 (延べ)	人	平成32年3月	総合戦略のKPI達成に有効であった	予定通り事業終了		

指標① プラットフォームで取り上げた人数→6人、地域活性化イベントに参加したワークショップの講師数→11人 合計17人 【+7】

指標② 若者会議の人数 → 12人 【+9】

指標③ 東員町市民活動支援センター登録団体数 → 60団体 【-3】
 毎年の更新時に実質休眠状態であった団体が-9団体脱退となった
 新規団体は+6団体であった

指標④ 事業をきっかけに立ち上がった産業、農福連携事業 → 0 【-1】
 新たな産業の創出までには至らなかった

指標① 町民課窓口で転入者を対象に実施しているアンケート調査(仕事の都合、Uターン、一時的、しかたなく、実家があるを除外) → 28人【+18】

■地方創生に非常に効果的であった
 ■地方創生に相当程度効果があった
 ■地方創生に効果があった
 ■地方創生に効果がなかった

■総合戦略のKPI達成に有効であった
 ■総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

■追加等更に発展させる
 ■事業内容の見直し(改善)
 ■事業の継続
 ■事業の中止
 ■予定通り事業終了

「健康活躍のまち」ブランド戦略展開事業

若者会議を開催	町内在住の若者12人を集め、「稼ぐ」「健康」「活躍」をキーワードに若者の感性とアイデアでまちづくり事業を実現
シニアが元気で活躍できる地域づくりを進めるための意向調査	セカンドライフに入るシニア3000人を対象に、日頃の生活や興味のあることなどを調査
シニア会議を開催	町内のシニア世代を集め、新たな活動への“小さな一歩”を踏み出すための「きっかけづくり」として開催(参加者14人)
「健康活躍のまち」プラットフォームサイトを創設	「健康活躍のまち」を進めるための特設サイトを創設し、OMIGOTOIN～健康活躍のまち～のキャッチフレーズで東員町の魅力や人などを発信
地域活性化イベント「OMIGOTOフェス」を開催	「健康活躍のまち」を進める取り組みとして、みんなが元気で活躍できる手づくりイベントなどを揃えたOMIGOTOフェスを中部公園で2日間開催。また中部公園パンフレット作成
起業、創業セミナー開催	町民が主体となって何かに取り組み、活躍するためのきっかけづくりとして、4回のセミナーを開催
まちづくりシンポジウム開催	総務省認定地域力創造支援アドバイザーで観光カリスマの山田桂一郎氏の支援を受け、まちづくりシンポジウムを開催
喜び農業、食農推進事業	喜び農業では農業の新たな可能性を創出するため実証調査 食農推進では、食と農をつなげ、農家の方々の活躍や食べ物を通じた健康等を学ぶ講座を開催

「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業

東員町PRパンフレット「こんにちは！東員町です。」を作成